

M-Coat B

1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1	製品識別名	
	製品名	M-Coat B (Control # 1072 and Higher)
	化学物質名	混合物。
	CAS 番号	混合物。
	EINECS 番号	混合物。
	REACH 登録番号	割り当てられていない。
1.2	当該物質または混合物の記載されている重要用途および 指導対象の用途	
	記載されている用途	PC9: 被覆・塗装・充填・パテ・シンナー。
	~ に対して助言された用途	知られていない。
1.3	供給者の詳細	
	会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire RG24 8FW United Kingdom
	電話	+44 (0) 1256 462131
	F a x	+44 (0) 1256 471441
	E メール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com
1.4	緊急連絡用電話の番号	(00-1) 703-527-3887 CHEMTREC

2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1	物質または混合物の分類	
2.1.1	欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)	引火性液体 区分 2; 引火性の高い液体および蒸気。 眼刺激性物質 区分 2; 重大な目への刺激を引き起こす。 特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3; 特定標的臓器への毒性 (単回暴露) 3 (中枢神経系。)
2.1.2	指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC	F; R11: 引火性が高い。 Xi; R36: 目を刺激する。 R67: 蒸気は眠気およびめまいを引き起こすことがある。
2.2	表示要素	欧州 CLP 規則 (No.1272/2008) によれば
	製品名	M-Coat B (Control # 1072 and Higher)

改訂: 1.1 日付: 16.07.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

危険性を表す絵文字



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H226: 引火性の液体及び蒸気。

H319: 強い眼刺激。

H336: 眠気及びめまいのおそれ。

危険有害性情報

P210: 熱、火花、裸火、および高温のものから離して保管する。 - 禁煙

P261: 蒸気の吸入を避ける。

P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。

P305 + P351 + P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337 + P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P308 + P313: 暴露又は暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

2.3 他の危険有害性

なし。

3. セクション 3: 組成/成分情報

3.1 物質 製剤/混合物中の物質

3.2 混合物

EC 分類 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	危険有害性情報
butanone	>70	78-93-3	201-159-0	引火性液体 区分 2; H225 眼刺激性物質 区分 2; H319 特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3; H336

指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	EC 分類とリスク警句
butanone	>70	78-93-3	201-159-0	F; R11: 引火性が高い。 Xi; R36: 目を刺激する。 R67: 蒸気は眠気およびめまいを引き起こすことがある。

4. セクション 4: 応急処置



4.1 応急処置の説明

吸入

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡する。

皮膚接触

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

目の接触

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

摂取

飲み込んだ場合は、水で口をすすがせる。(但し、意識がある場合のみ)。無理に吐かせない。医師の治療を受ける。自然に嘔吐する場合は、頭部を腰の高さよりも低く保ち、肺に吸引しないようにしてください。

4.2 最も重要な症状および作用（急性および遅発性）

昏睡およびめまいを起こすおそれ。中枢神経機能低下。眼の刺激をもたらす。

4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

必要とは思われないが、必要であれば症状に基づいて処置する。

5. セクション 5: 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。

不適切な消火剤

ウォータージェットを使用しない。

5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性

火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。一酸化炭素、二酸化炭素、液体が下水道、地下室及びワークピットに入らないようにする；蒸気は爆発性雰囲気を作り出すことがある。

5.3 消防士へのアドバイス

消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。

6. セクション 6: 漏出時の措置

6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

適切な換気を確認する。危険がなければ漏出を遮断する。着火源をとり除く。蒸気の吸入を避ける。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。必要であれば待避する。

6.2 環境的予防措置

排水路、下水道または水路に入らないようにする。

6.3 封じ込めと清掃のための方法および資材

引火性漏洩物を回収するときには、無火花機器を使用すること。流出物を砂、

改訂: 1.1 日付: 16.07.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

土または適切な吸収剤に吸収させる。廃棄用の容器に移す。この素材と容器は、危険廃棄物として廃棄すること。下水に洗い流さないこと。蒸発させておく。

6.4 他のセクションの参照先

次の項を参照: 8, 13

7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

7.1 安全な取り扱いのための注意事項

適切な換気を確保する。蒸気を吸入してはならない。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。

7.2 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)

容器および受器を接地し固定する。電気系統は無火花でなければならない。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。高温、着火源および直射日光を避けること。

保管温度

常温の。

保管期間

普通の状態で安定。

混触危険物質

次のものから離して保管する。引火性液体, 酸化剤類, 腐食性。物質, アルコール類。

7.3 具体的最終用途

コーティング。/ペンキ用。

8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

8.1 管理指標

8.1.1 職業暴露限度

物質	CAS 番号	長期暴露限界(8 時間 TWA ppm)	長期暴露限界(8 時間 TWA mg/m3)	短時間暴露限界(ppm)	短時間暴露限界 (mg/m3)	参照:
Butan-2-one (methyl ethyl ketone)	78-93-3	200	-	-	-	JSOH

参照:JSOH: Japan Society for Occupational Health; J Occup Health, 2010; 52: 308-324.

8.1.2 生物学的限界値

確立されていない。

8.1.3 PNEC および DNEL

DNEL (Methyl ethyl ketone)	口	吸入	経皮
産業 - 長期 - 全身作用	-	1161 mg/m ³	600 mg/kg bw/day
消費者 - 長期 - 全身作用	31 mg/kg bw/day	106 mg/m ³	412 mg/kg bw/day

改訂: 1.1 日付: 16.07.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishayppg.com

PNEC	Methyl ethyl ketone
水系	PNEC aqua (freshwater / marine water / intermittent releases) 55.8 mg/L PNEC STP 709 mg/L PNEC sediment (freshwater/marine water) 284.7 mg/kg sediment dw PNEC oral 1000 mg/kg food
土壌	PNEC soil 22.5 mg/kg soil dw

8.2 暴露管理

8.2.1 適切な工学的管理

適切な換気を確保する。職業暴露限度の規定に基づいて、空中濃度を管理しなければならない。

8.2.2 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置

必要な個人用保護具を使用する。再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。皮膚および目との接触を避ける。

目/顔面の保護



液体の飛沫から保護するため保護めがねを着用すること。側板付き保護めがね (EN166) を着用すること。

皮膚の保護



不浸透性手袋を着用すること。ニトリルゴム、ブチルゴム。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。手袋に不適切な素材: 天然ゴム、ポリ塩化ビニル(PVC)。

呼吸器の保護



通常、呼吸用保護具は必要ない。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。A型フィルターの付いた適切なマスク(EN141またはEN405)が適すると思われる。

熱の危険性

該当なし。

8.2.3 環境暴露コントロール

環境に排出しないようにする。

9. セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

外観

物質の物理化学的特性 Butan-2-one

粘性 (の)、粘潤な 日焼け 有色の液体。

におい

ケトン におい

臭いの閾値

資料なし。

pH

確立されていない。

融点/凝固点

-86°C

初留点と沸騰範囲

82.3°C (混合物。)

引火点

-9 °C [クロ-ズドカップ]

蒸発速度

1 (BuAc = 1)

燃焼性 (固体、ガス)

引火性液体 区分 2; 引火性の液体及び蒸気。

改訂: 1.1 日付: 16.07.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

上限/下限可燃性または爆発限界	LEL: 2.0 UEL: 10.0
蒸気圧	12.6 kPa at 25°C
蒸気密度	>1 (航蟻 ir = 1)
相対密度	0.81 g/cm ³ (H ₂ O = 1)
溶解度	>10% (水)
分配係数: n-オクタノール/水	0.3 log Pow (40 °C)
自然発火温度	404 °C
分解温度	資料なし。
粘度	2.038 mPa s (動的粘度) 25 °C
爆発性	資料なし。
酸化性	非酸化性。

9.2 その他の情報 揮発性有機化合物の含有量: 675 g/liter

10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性	普通の状態で安定。
10.2 化学的安定性	普通の状態で安定。
10.3 危険な反応の可能性	引火性の高い液体および蒸気。蒸気は目に見えず、空気より重く、場合によっては地面に沿って拡散する。
10.4 避けるべき条件	高温、着火源および直射日光を避けること。
10.5 混触危険物質	引火性液体, 酸化剤類, 腐食性。物質, アルコール類, 強い。酸類。と アルカリ類。
10.6 危険有害性分解生成物	火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。一酸化炭素、二酸化炭素。

11. セクション 11: 有害性情報

11.1 毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)	
急性毒性	
摂取	分類されていない。
吸入	特定臓器毒性(単回暴露) 区分3: 昏睡およびめまいを起こすおそれ。中枢神経機能低下。
皮膚接触	分類されていない。
目の接触	眼刺激性物質 区分2
刺激性	眼刺激性物質 区分2; ウサギの目に中程度の刺激を与える。(OECD 405)
腐食性	分類されていない。
感作性	Not classified.
反復投与毒性	分類されていない。
発がん性	発がん性の証拠はない。

変異原性	突然変異性を引き起こす潜在力があることを示す証拠はない。
生殖毒性	データなし。
11.2 その他の情報	なし。

12. セクション 12: 環境影響情報

12.1 毒性	海洋汚染物質として分類されていない。
12.2 残留性および分解性	容易に生分解される。
12.3 生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性が低い。
12.4 土壌中の移動度	この製品は土壌中で移動性が高いと予想される。水 溶解。
12.5 PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6 その他の有害な作用	知られていない。

13. セクション 13: 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理法	この物質や容器は有害廃棄物として処理する。法律に従い、前処理後にしかるべき危険廃棄物焼却施設に送ること。
13.2 追加情報	内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

14. セクション 14: 輸送上の注意

14.1 国連番号	ADR/RID / IMDG / IATA UN 1193
14.2 適切な船積み名	ETHYL METHYL KETONE (METHYL ETHYL KETONE)
14.3 輸送危険分類	3
14.4 輸送危険分類	II
14.5 環境に対する危険	海洋汚染物質として分類されていない。
14.6 使用者に対する特別な注意事項	重大な目への刺激を引き起こす。
14.7 MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。
14.8 追加情報	なし。

15. セクション 15: 適用法令

15.1 特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律	Ethyl methyl ketone - Seveso Substances Category 7b
15.1.1 EU 規制	揮発性有機化合物の排出の制限に関する 2004/42/EC による情報 (VOC 指令)。
使用の承認および/または制限	なし。
15.1.2 国の規制	知られていない。

改訂: 1.1 日付: 16.07.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

15.2 化学物質安全性評価

資料なし。

16. セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート(SDS) と既存の ECHA 登録 ethyl methyl ketone (CAS# 78-93-3).

物質または混合物の分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば	分類手順
引火性液体 区分 2; H226	調和した分類
眼刺激性物質 区分 2; H319	調和した分類
特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3; H336	調和した分類

注釈

LTEL	長期暴露限界
STEL	短時間暴露限界
DNEL	求められた無影響量
PNEC	推定無影響濃度
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
vPvT	v P v T: 高難分解性、高毒性
OECD	経済協力開発機構

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切な措置をお取り願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件(法的なあるいはそうでない)はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません(欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

拡張安全性データシート(eSDS) の付録

利用可能な情報なし。